

ゲームとお菓子はスキー教室に必要か？

連日のスキー教室実行委員会。最終下校時刻が5時15分なので、会議の時間が毎日30分程度しか取れません。その中で学級討議の原案を作るために、実行委員さんは本当に真剣に取り組んでいました。

先日は旅行行事で一番悩む「ゲーム」と「お菓子」について話し合いました。

★ 授業の延長であるスキー教室に、はたして「ゲーム」は必要なのか。

- 部屋におしゃべりが苦手な人がいたら、ゲームに誘って仲良くなれる。
- でも、将棋やオセロなど、二人で楽しむものだと、部屋の一部で盛り上がることになるから、大人数で楽しめるトランプやUNOがいいのではないかな。
- 簡単に片付けられるもので、電池を使わないゲームならいいのではないかな。
- それは範囲が広すぎて、人生ゲームや遊戯王カードなども持っていきそうだな。
- 楽しくて、集合時間を守れない場面が出てくるのではないかな。
- いや、「もう少しやりたい」という誘惑に勝って、みんなで声を掛け合いながら時間を守ることで、スローガンの「責任感」が高まると思う。

結論は、大人数で楽しめる「トランプ」「UNO」のみ に決定しましたが、スローガンの「責任感を高め」つつ、「いい仲間」作りを実現しようと、真剣に考えられたことは素晴らしいと感じました。

★ さらに、遠足でももめた「お菓子」について。

- 遠足ではお菓子交換で会話が増えた。
- でも、帰りのバスでお菓子交換の時に、お菓子を投げて渡した人がいたのでマナー違反だと思う。
- お菓子を食べ過ぎて夕飯を残す人が出るとまずいと思う。
- それならば「お菓子はバスの中のみ」にすればいいのではないかな。
- バスの中にお菓子のゴミが落ちる可能性がある。
- それは、環境係を中心にゴミを捨てないような声掛けをすればいい。それがスローガンの「責任感」と「協力」「いい仲間」につながる。

このように、実行委員会でも意見が分かれています。さて、学級討議の結果は？！

ふれあい講演会を終えて

16日の5時間目に、「ふれあい講演会」が行われました。今回は、元バレーボールオリンピック選手である、山本隆弘さんにお越しいただきました。

バレーと出会う前は、野球、サッカー、陸上と様々なスポーツを経験してきたこと。バレーと出会ってからのスタートは、決して恵まれた環境ではなかったこと。大学時代に挫折を味わったこと等、山本さんのこれまでの経緯を包み隠さず話してくださいました。

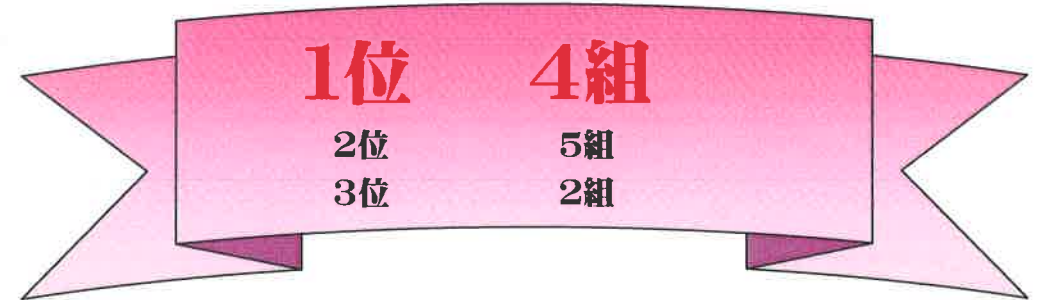


その中でも強く伝えてくださったことが、「地道な努力を続けること」、「夢をあきらめないこと」でした。

南中生のみなさんも、失敗してもくじけずに夢を追い続け、その夢に向かって、小さな事でもコツコツと継続する力を身につけていってほしいと思います。

<授業規律定着コンクール結果発表！>

11月1日～11日の間に、「授業規律定着コンクール」がありました。毎授業を5つの観点から、それぞれ4段階の20点満点で評価するというもので、全学年、全クラスで行われました。1学年のトップ3のクラスを発表したいと思います。



1位は「4組」でした！4組はなんと、期間中に2日20点満点を取りました。5組も、1日20点満点を取っていました。どのクラスもよく頑張りました。

スキー教室実行委員会議の様子



11月21日(月)	職員会議
22日(火)	6時間目 総合 スキー教室 学級討議パート2
23日(水)	勤労感謝の日
24日(木)	5時間目 学活 スキー教室に関する学年総会
25日(金)	部活動停止期間 (～12/1 朝練まで)